

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 116

事務事業名	集団回収推進支援事業
-------	------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	環境センター		
課長名	濱崎 賢二	内線	54-3100
担当者名	平地 俊夫	内線	54-3100

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050403	環境にやさしいまちづくり
施策		ごみの減量化と適正処理の推進
関連施策		

会計	一般会計		
款	4	衛生費	
項	2	清掃費	
目	1	清掃総務費	
事業コード	030200	集団回収推進支援事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	集団回収を実施する団体等及び業者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	集団回収への積極的参加により、市民のリサイクル意識向上・分別排出徹底等の普及を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	団体及び業者に対し報奨金を交付することにより、ごみの再資源化物回収運動を推進し、ごみの排出抑制と減量化を図る。		
事業期間	平成 5 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	大村市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、一般廃棄物処理基本計画		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 集団回収された再資源化物の量	計画値	2,375	2,482	2,632	2,734	ごみ処理基本計画目標値
		実績値	1,995	1,835	1,745		
	② 集団回収団体等(又は集団回収業者)から実績報告があった量	達成度	84.0%	73.9%	66.3%		
成果指標	① 集団回収量のごみ排出量に占める割合	計画値	8.3	8.8	9.4	9.9	平成28年度の目標値
		実績値	6.2	5.9	5.6		
	② 集団回収量/ごみ排出量	達成度	74.7%	67.0%	59.6%		
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	7,704	7,030	6,701	7,230	6,705	6,705	6,705	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	7,704	7,030	6,701	7,230	6,705	6,705	6,705	
② 人件費(千円)	1,481	1,454	1,419	1,434	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.07	0.07	0.07	0.07	集団回収推進支援	集団回収推進支援	集団回収推進支援	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50				
フルコスト(①+②千円)	9,185	8,484	8,120	8,664				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	集団回収団体へ1kg当り4円、集団回収業者へ1kg当り0.5円の報奨金を支給している。
事業が抱える問題・課題等	民間業者による資源物の回収が増えており、集団回収量が減少傾向にある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	資源の有効活用及び分別排出の徹底等の普及を図るために重要であり、市民のニーズも高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	回収団体及び業者へ報奨金を交付し、古紙等のリサイクルシステムを維持する。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市における集団回収量の再生利用量に占める割合は約5割に達している。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	リサイクルの推進の観点からこの制度の貢献度は高い。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	循環型社会構築のため、この制度は市民の協力が不可欠であり、現在の制度を継続することが必要であり、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後も集団回収制度を通してリサイクル意識の高揚を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	市民のリサイクル意識の醸成に必要な事業である。			内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。